

## サルを用いた薬物動態試験

サルを用いた薬物の吸収・分布・代謝・排泄(ADME)に関する試験は、薬物の有効性や安全性の考察、更には、ヒトにおける体内動態を予測する上で大変重要と位置づけられております。  
 (株)トランスジェニック神戸研究所では、薬物のさまざまな投与ルートや生体サンプルの採取方法のノウハウを提供することで、サルを用いた薬物動態試験の受託を行っております。

### 投与方法(例)

- 経口投与
- 静脈内投与
- 鼻腔内投与
- 気管内投与
- 点眼
- 関節腔内投与
- 脳内投与
- 髄腔内投与

### サンプル採取(例)

- 血液
- CSF (脳脊髄液)
- 尿・糞
- 胆汁
- 肺洗浄液
- 前眼房水
- バイオプシー

ヒトに最も近い  
動物種から経時的に  
採取が可能

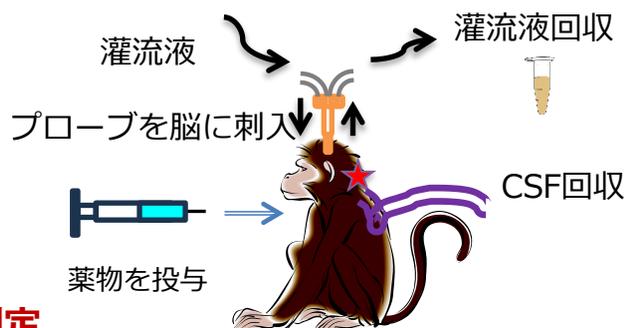
## 低～高分子化合物の脳移行性評価実験

### マイクロダイアリシス (MD) 法による脳内物質の回収

透析プローブを脳内に留置し、ポンプで灌流液を流し、灌流液中へ回収された脳内物質を採取・測定する。

近年では抗体などの高分子化合物にも対応しております！

**薬物の脳内、CSFへの移行を同時に測定  
(脳の複数個所での同時回収も可)**



お客様のご要望に沿い  
実験時期を待たない環境をご提供します

